

すでに、夏を思わせるような、すごしやすい季節になってまいりました。恙無く閉幕することができたバンクーバーオリンピック…。スピードスケート・フィギアスケート・カーリング…いずれも素晴らしかったのですが、小生的には、モーグルの上村愛子選手～“涙の4位入賞！”が1番印象的でした。

さて、会報4月号…如何でしたでしょうか？

【表紙】：「芝桜」(by 高良聰子先生)というタイトルで美しい写真をご入稿頂きました。「思い立ったが、吉日！」という事だと思いました。それにしても、2週間前に思い立った旅行を、即決できる先生の行動力に“脱帽！”です。

【新執行部誕生】：会長の宮城先生、副会長の玉城先生・小渡先生、そして重要事項担当の各理事の先生方が、今後の抱負を述べられています。是非、ご一読ください。

【特別報告】：「2009年の沖縄県における新型インフルエンザ入院症例の検討」(by 健山正男先生)～「沖縄県の新型インフルエンザ入院症例の死亡率の低さは、早期診断と迅速に投与された抗インフルエンザ薬の効果である！」…という、結論のようです。今後も、感染症との戦いは続きます。「うつさない！うつらない！(救急医療を) つぶさない！」…このキャッチフレーズで、県民・行政・医療機関のさらなる連携が最重要課題と考えます。

【報告】いろいろな内容の濃い報告がごぞいます。是非、ご一読ください。特筆すべきは、「第1回県民健康フォーラム」：“誰もがなりうる『うつ病』”…。開演の1時間前から待っていたという車イスの女の子に、この報告コーナーの資料を謹んで差し上げたいと思いました。

【委員会報告】：「脳卒中医療連携パス～患者中心の脳卒中医療を目指して～」(by 高良英一先生)～このような素晴らしい連携パスが、全県下で運用されることを確信しております。

【生涯教育コーナー】：「慢性咳嗽について」(by 當山真人先生)～SAS (Sleep Apnea Syndrome：入眠時無呼吸症候群)と、SBS (Sino Bronchial Syndrome：副鼻腔気管支症候群)が疑われる小生にとって、とても参考になる“生涯教育”でした。本当にありがとうございました。

【プライマリーケアコーナー】：「古くて新しい『漢方療法』」(by 友利寛文先生)～「体育館民主主義」といわれる行政刷新会議で、仕分けられそうになった「漢方薬」の保険適用維持の決定に安堵しているところです。第2弾、第3弾のご寄稿を宜しくお願い申し上げます。

【インタビューコーナー】：北部地区医師会病院 院長 諸喜田林先生 (インタビュー by 石川清和先生)～「一心精進！」…。素晴らしい“座右の銘”だと思います。地域医療のためのさらなる“精進”を宜しくお願い申し上げます。

ます。

【月間行事お知らせ】：「未成年者飲酒防止月間に因んで」(by 前泊清隆 所長)～PTA+C=PTCA；P (Parent：家庭教育)+T (Teacher：学校教育)+C (Community：地域・社会教育)+A (Association：連合・連携・共同体) “PTCA”の重要性を再認識いたしました。「世界保健デー (4/7) によせて」(by 島袋全哲先生)～「格差社会 (所得格差・教育格差・健康格差・経済格差)」・「ロゼト効果」・「地域力」…。いい勉強をさせて頂きました。

【若手コーナー】：「指導医の立場から」(by 三戸正人先生)～機内で手を挙げるのでできる医者でありたいと思っているのですが…。やはり、機内で「あれちょうだい！」は通用しないと考えます。「1年目を振り返って～笑顔で親切～」(by 金城太貴先生)～「笑顔は0円 (ただ)！」、「怒りは無知！涙は修行！笑いは悟り！」、「一笑一若！一怒一老！」…。これからも、「苦勞するチャンス」を生かして、「笑顔」で頑張って頂きたいと思います。

【発言席】：「産科医療に復帰して」(by 叶三千代先生)～「いくつになっても勉強に遅いことはない！」(by 医局長)…「Never too late！＝挑戦は時を選ばない！」(by バスケットボール；田臥勇太選手)」という名言を思い出しました。

【本の紹介】：「滋味あふれる沖縄の記憶」(by 稲田隆司先生)～“クサティ (後ろ盾)”…。本当に、響きの良い言葉だと思います。

【ロゴマークは語る】：「南城つはこクリニック」(by 小山信二先生)～“患者は母親を診るように！”…。肝に銘じたいと思います。

【随筆】：「私の楽しみ！命どう宝～命のゆいまーるプロジェクト～」(by 高良剛ロベルト先生)～「自分一人で出来ることは少ない！」…。「No Man Alone！」(by 脳外科医ペンフィールド)、「徳孤ならず！(有徳の者は孤立しない！)」という名言を思い出しました。是非、“夜のミーティング”だけでも、参加させて頂きたいと思います。「ギャンブル狂時代～また、めんそうれー！」(by 佐久川廣先生)～宮古病院時代、ご一緒させて頂いた先生の“雀風”は極めて濃厚なものでした。しかし、すし屋のカウンターでの「そのまま～！」…に関しましては、胸中お察しいたしますが、少々過激だったかもしれません。

さ～、いよいよ新年度…。「政治とカネ問題」、「普天間基地移設問題」、「トヨタ車リコール問題」、「クロマグロ問題」などもさることながら、「診療報酬改定に伴う諸問題」に対し、期待しすぎず、落胆しすぎず、しっかり足元を固めて、しなやかに乗り切ってまいりましょう…！。

広報委員 照屋 勉